

動機

弊社では、平成18年より高齢者介護を運営しており、そのなかで様々な経験と成長をしてきました。そこには、ご利用者へ対しての直接的ケアだけでなく、ご家族のレスパイトケア、また、現在に至るまでの心のケアも含め、晩年に向けた安心して過ごしていくための支援などです。なかには、身寄りがなくサービスを利用できない方や、費用の支払いに不安を抱えておられる方に対しての対応もおこなってきました。周囲からはそこまでする必要はあるのか？と聞かれたこともあります。そこには、代表を始め私自身も苦労の過去があり、周りに助けられた経験をしてきたからこそ、その思いに向き合うことができたのです。現在、高齢者介護に携わる仕事に出会えたことで、支えてくださった方々に報恩感謝できているのではないかと感じています。そうした思いを胸に、弊社では何事も「心こそ大切」だとの重要性を示した運営に努めています。

この度、放課後等デイサービスを開設する動機となりましたのは、2年前より特別支援学校生の就業体験・職場実習を受け入れたことが理由の一つです。

高齢者介護というコミュニケーション力が必要とされる場で、恥ずかしく上手く話ができないなかにも、ご利用者と心から接していく姿を感じとれました。生徒たちは、失敗や出来なかったこと、理解に何度も苦しむことも真剣に取り組み、自分も出来ることの楽しさと喜びが生まれ、自信へと変わっていったのです。そうして、令和3年度、特別支援学校生2名の生徒が、弊社介護事業部に入社されました。

そうした経験を通じて、学校教育という期間、大きな可能性を引き出していく大切な時期に教育と療育の必要性を併せて、私たちが将来に向けて出来ることはないかを考えました。時代に合った療育も方法の一つです。一方、私たちが人として成長していく過程には、培ってきた文化や自然、また人と人の触れあいのなかにこそ、最も必要とされる療育があるのではないかと考えています。

これまで経験してきた高齢者介護と同様、私たちは障がいに向き合う子たちやその親御さんの思いに立ち「心こそ大切」な対応が必要だと思えます。共生社会を目指し、そうした場で人生を歩んでいくためには、今何が必要かを常に模索し、将来への道筋を拓いていきたい思いで、この度、放課後等デイサービスを開設したいと考えました。

株式会社白ゆり